

## I. 2022年度事業報告（2022年3月1日から2023年2月28日まで）

### 【公益目的事業】

#### (1) 会誌「化学と生物」、論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

##### 1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

会誌送付の状況（括弧内は紙媒体による送付数） (2023年2月末現在)

	化学と生物 (第61巻、第2号)		Biosci.Biotechnol.Biochem (第87巻、第2号)	
	国内	国外	国内	国外
名 誉 会 員	14 (6)	1 (1)	14 (6)	1 (1)
有 功 会 員	214 (64)	0 (0)	214 (5)	0 (0)
シ ニ ア 会 員	200 (23)	0 (0)	200 (5)	0 (0)
一 般 会 員	5162 (98)	5 (0)	5162 (109)	5 (0)
教 育 会 員	81 (78)	0 (0)	81 (2)	0 (0)
学 生 会 員	1859 (10)	1 (0)	1859 (6)	1 (0)
ジ ュ ニ ア 会 員	11 (0)	0 (0)	11 (0)	0 (0)
国 外 会 員	0 (0)	4 (1)	0 (0)	4 (2)
賛 助 会 員	95 (92)	0 (0)	95 (91)	0 (0)
団 体 会 員	225 (226)	0 (0)	225 (225)	0 (0)
寄 贈・交 換	0 (16)	0 (7)	0 (4)	0 (8)
追 加 送 本 <sup>*1</sup>	0 (7)	0 (0)	0 (4)	0 (0)
販 売 <sup>*2</sup>	0 (480)	0 (0)	68 (0)	1620 (0)
広 告 用	0 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
事務局保存用	0 (15)	0 (0)	0 (5)	0 (0)
計	7861 (1135)	11 (9)	7929 (462)	1631 (11)
総 計	7872 (1144)		9560 (473)	
紙媒体印刷部数		(1200)		(480)
紙 媒 体 残 部		(56)		(7)

※ オンライン版会誌送付数は2022年度会費納入済の会員数

※1 賛助・団体会員に追加で送本しているもの（有料）

※2 和文誌を刊行している国際文献社、英文誌を刊行している Oxford University Press が販売しているもの

Oxford University Press の販売データは2022年12月末時点のもの

「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

	第56巻(2018年)	第57巻(2019年)	第58巻(2020年)	第59巻(2021年)	第60巻(2022年)
解説	392 53	359 49	353 47	342 44	297 40
セミナー室	116 16	217 26	138 19	83 10	129 16
今日の話題	103 39	90 35	94 34	64 21	106 35
バイオサイエンススコープ	20 4	0 0	12 2	6 1	19 3
生物コーナー・化学の窓	11 2	6 1	0 0	5 1	13 2
トップランナーに聞く	4 1	9 1	0 0	8 1	0 0
海外だより・学界の動き	9 2	22 4	21 4	4 1	5 1
プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション	32 6	28 5	40 7	44 7	40 7
農芸化学@High School	23 7	17 5	21 5	29 7	25 6
特別寄稿				19 2	
特集号	97 20				
その他	29	28	25	32	32
印刷頁数(冊子体)	836	776	704	636	666

「化学と生物」執筆者へ「化学と生物・クリアファイル」を配布している。

## 2) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

## 英文誌投稿状況・掲載状況

月	前年末	2022年												2023年			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	計
手持数	70	76	82	79	88	88	91	93	87	79	84	74	62		67	69	
受理数		67	56	69	64	53	53	66	58	65	72	38	32	693	47	46	93
掲載数		16	17	14	15	14	18	23	20	22	15	14	16	204	14	13	27
返却数		45	33	58	40	39	32	41	44	51	52	34	28	497	28	31	59
issue		86-02	86-03	86-04	86-05	86-06	86-07	86-08	86-09	86-10	86-11	86-12	87-01		87-02	87-03	

## 英文誌掲載の状況

	受理報文数		掲載報文数		返却報文数		年末手持 報文数	印刷頁数 (投稿論文)	印刷部数		IF
		うち 海外		うち 海外		うち 海外					
2018年	742	422	291	53	439	334	174	2224 (Vol. 82)	735 (Vol. 82, No. 12)		1.297
2019年	947	669	289	95	661	563	171	2393 (Vol. 83)	700 (Vol. 83, No. 12)		1.516
2020年	1119	835	297	101	813	731	180	2608 (Vol. 84)	650 (Vol. 84, No. 12)		2.043
2021年	858	613	289	77	679	599	70	2475 (Vol. 85)	500 (Vol. 85, No. 12)		2.337
2022年	693	433	204	31	497	408	62	1725 (Vol. 86)	480 (Vol. 86, No. 12)		
増減	- 165	- 180	- 85	- 46	- 182	- 191	- 8	- 750	- 20		

※増減は 2021 年と 2022 年の比較

3) 2022年度大会プログラム集は 2022 年 2 月 25 日に PDF 版を発行した。

4) 2022年度大会講演要旨集は 2022 年 3 月 5 日に PDF 版を発行した。

**(2) 学術大会、講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業**

1) 2022年度学会賞等受賞者講演の開催

2022年度の日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞・農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞および農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は2022年3月15日に日本農芸化学会議室（東京都文京区弥生2-4-16）よりライブ配信で行なった。

2) 2022年度大会の開催

2022年度大会は2022年3月15日から18日までの4日間、Zoom等を使用したオンラインにおいて以下の内容で開催され、大会参加者数は3,823名であった。

- ・口頭発表による一般講演（1,346題）
- ・シンポジウム（21テーマ・122題）の発表と討論
- ・スポンサードセミナー（6社・6題）
- ・企業説明会（8社）
- ・展示会（11社・11枠）
- ・ジュニア農芸化学会（101題）
- ・産学官学術交流フォーラム（14題）

大会に先立ち、2022年3月8日にオンラインで報道各社を招き記者会見を開催した。新聞、出版社各12社13名に学会および2022年度大会の広報資料を配布し、学会長から学会の紹介、大会副実行委員長から大会全体の紹介、さらに広報委員長、広報理事からトピックス28演題の紹介、解説を行なった。

2022年度大会におけるトピックス賞として下記28題を表彰した。

2D02-03 若井 晓 海洋研究開発機構超先鋭研究開発部門  
「光刺激応答性バイオナイロンの海洋生分解性評価および分解性微生物の特定」

2D04-10 三根健太郎 日清食品ホールディングス株式会社  
「油脂酵母*Lipomyces starkeyi*を用いた食用代替パーム油の開発」

3E01-01 仲間 陸 北海道大学大学院工学研究院  
「微細藻類由来DHA合成酵素の炭素鎖伸長反応の解析」

3E01-09 日比玄紀 東京大学大学院農学生命科学研究所  
「アミプリマイシンに含まれる特殊アミノ酸の生合成機構の解析」

2F04-10 本間悠人 東北大学大学院薬学研究科  
「ゲノムマイニングと異種発現を基盤とする糸状菌デプシペプチドの探索研究」

4E01-03 宮澤 和 長谷川香料株式会社  
「バラの重要な香気成分であるDAMASCENOLIDEの類縁体合成と香気特性（第3報）」

4C05-08 鈴木遼太 キッコーマン株式会社  
「乳酸センサ用フラビン依存性乳酸デヒドロゲナーゼの探索および特性評価」

3H02-06 山本広史 東京大学大学院農学生命科学研究所  
「ポリフェノール修飾タンパク質に対する高親和性ペプチドの解析」

3H04-08 内村美里 静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府  
「全ヒト嗅覚受容体の気相応答を指標とする牛肉香のプロファイリング」

4H02-05 大野直土 キッコーマン株式会社  
「機械学習を利用した機器分析によるしょうゆの官能的な特徴の予測」

3I01-08 福本沙弥 マルハニチロ株式会社  
「MALDI-TOF MSを用いた食品希釀液からの直接同定方法の開発」

2F09-10 飯嶋益巳 東京農業大学応用生物科学部  
「ウイルス膜モデルを用いた紅茶の抗ウイルス活性のナノレベル可視化」

3G03-08 野仲葉月 東京農工大学農学府  
「中鎖脂肪酸油の質の違いによる代謝機能変化を制御する脂肪酸受容体GPR84」

3H07-11 綾部達宏 キリンホールディングス株式会社  
「ホエイ由来ペプチドβラクトリンはマウスおよびヒトiPS細胞由来アルツハイマー病モデル神経細胞のミトコンドリア機能異常を改善する」

2H09-07 笠原洋一 東京大学大学院農学生命科学研究所  
「新規塩味受容分子Transmembrane channel-like 4の機能解析」

2H09-02 戸田安香 明治大学農学部  
「靈長類における旨味受容体のスクレオチド感受性と食性的関わり」

2A06-08 佐藤由也 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
「害虫と共生細菌にみる相互協力的な農薬解毒メカニズム」

3A05-10 永久保利紀 筑波大学大学院生命環境系  
「土壤微生物と共生する新規ウイルス様粒子の生物学的意義」

4C01-06 井上太貴 北海道大学大学院農学研究院  
「Insertion Sequencing解析により同定されたアミノ酸代謝に関わるビフィズス菌遺伝子の通常飼育マウス腸内における定着と生存への寄与の評価」

4D04-03 木伏真子 早稲田大学理工学術院先進理工学部  
「実験室内および野外ダイズにおける根圈細菌叢の時空間変動解析」

2C05-07 熊野匠人 筑波大学生命環境系  
「C-配糖体代謝酵素の機能および結晶構造解析」

2B04-06 小畠龍太郎 独立行政法人酒類総合研究所  
「日本酒醸造ビッグデータを用いた迅速な清酒醸造法の開発」

2B07-02 千葉夏乃 株式会社ダイセル  
「複合微生物系による機能性代謝物の生産に関する研究」

- (1)一水素生産菌を利用したエクオール発酵生産ー  
4B04-10 今井 優 Northeastern University Antimicrobial Discovery Center  
 「*Mycobacterium tuberculosis* を選択的に殺す DNA ジャイレース阻害剤の発見」
- 4A08-01 平間結衣 花王株式会社生物科学研究所  
 「ウイルス不活化剤としてのプロピレンジコールの効果とメカニズムについて」
- 3J07-11 宮本浩邦 千葉大学大学院園芸学研究院  
 「好熱菌発酵産物由来の耐熱性機能性細菌 *Paenibacillus* sp. の植物生育促進性候補遺伝子群の同定と構造方程式モデリングにおけるオミクス統計評価」
- 3J02-06 手塚大介 農研機構生物機能利用研究部門  
 「ゲノム編集酵素の直接導入による多収性オオムギ品種の開発」
- 3D09-05 木原もなみ 名古屋大学大学院生命農学研究科  
 「無細胞タンパク質合成系を用いた COVID-19 感染患者由来単一 B 細胞からの抗 SARS-CoV-2 Spike ヒトモノクローナル抗体」
- 3) ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）の開催  
 ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）は 2022 年度大会期間中の 2022 年 3 月 16 日にオンライン形式にてポスター発表（101 題・73 校）が開催された。
- 4) 農芸化学 Frontiers シンポジウムの開催  
 農芸化学 Frontiers シンポジウムは新型コロナウイルス感染症の影響により 2022 年度大会では開催がなかった。
- 5) 第 48 回、第 49 回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催  
 農芸化学「化学と生物」シンポジウムは Visionary 農芸化学 100 シンポジウムがその趣旨を引き継ぐことになり、第 48 回農芸化学「化学と生物」シンポジウムと並記し「微生物の共生・生態～世界は微生物で溢れている～」というタイトルで、2022 年 5 月 21 日にオンライン形式（Zoom ウェビナー）にて開催された。
- 第 49 回農芸化学「化学と生物」シンポジウムは Visionary 農芸化学 100 シンポジウムに並記し「認知症の予防で、老後の生活を豊かに」というタイトルで、2022 年 9 月 9 日に対面とオンライン形式（Zoom ウェビナー）によるハイブリッド形式にて開催された。
- 6) 分野融合連携シンポジウムの開催  
 分野融合連携シンポジウムは 2022 年 3 月 16 日と 3 月 17 日に日本味と匂学会との合同企画を「「食べる」「飲む」行動を制御する味覚・嗅覚の脳神経基盤」というタイトルで、日本細菌学会との合同企画を「微生物群集の構造と動態の理解」というタイトルで、オンライン形式（Zoom ウェビナー）にて開催された。
- 7) サイエンスカフェの開催

\*<sup>1</sup>日本学術会議農芸化学分科会と共に、\*<sup>2</sup>京都カラスマ大学と共に

- 1 [第 140 回]（函館）2022 年 9 月 19 日「北海道のワインの香りの探検」(G スクエア シエスタハコダテ 4 階：イベントスペース A, B) 講師：曾根輝雄 氏、コーディネータ：玖村朗人 氏 参加者：41 名
- 2 [第 141 回]<sup>\*1</sup>（高知）2022 年 10 月 2 日「土佐の食材と SDGs」(高知県立県民文化ホール 第 6 多目的室) 講師：島村智子 氏、松川和嗣 氏、コーディネータ：村松久司 氏 参加者：24 名
- 3 [第 142 回]（鶴岡）2022 年 11 月 13 日「微生物の力～発電、醸造」(山形大学農学部 3 号館 101 講義室) 講師：加来伸夫 氏、小関卓也 氏、コーディネータ：豊増知伸 氏 参加者：16 名
- 4 [第 143 回]<sup>\*1</sup>（名古屋）2022 年 11 月 26 日「ワサビはなぜ辛い？—100 万年の進化の謎に迫る」(Zoom によるオンライン開催) 講師：山根京子 氏、コーディネータ：小池田聰 氏 参加者：27 名
- 5 [第 144 回]<sup>\*1</sup>（福岡）2022 年 12 月 3 日「食べてアンチエイジング！」(福岡市科学館 4 階交流室) 講師：片倉喜範 氏、コーディネータ：本城賢一 氏 参加者：18 名
- 6 [第 145 回]<sup>\*1</sup>（東京）2022 年 12 月 10 日「植物のコミュニケーションの不思議と無農薬栽培への応用！」(東京大学農学部フードサイエンス棟 中島ホール) 講師：有村源一郎 氏、コーディネータ：岡田憲典 氏 参加者：9 名
- 7 [第 146 回]<sup>\*2</sup>（京都）2023 年 1 月 22 日「サンソリの毒が、未来の農業を救う！？」(建仁寺塔頭「禪居庵（ぜんきょあん）」) 講師：宮下正弘 氏、コーディネータ：京都カラスマ大学、由里本博也 氏 参加者：21 名
- 8) 産学官学術交流フォーラムの開催  
 産学官学術交流フォーラムは、2022 年 3 月 18 日にオンライン形式にて開催された。
- ・第 19 回農芸化学研究企画賞研究企画発表会
  - ・第 2 回夢にチャレンジ企画賞ピッチコンテスト
  - ・第 1 回夢にチャレンジ企画賞継続提案審査
  - ・第 18 回農芸化学研究企画賞中間報告会
  - ・第 17 回農芸化学研究企画賞最終報告会
  - ・シンポジウム「SDGs 時代の農&産業サバイバル戦略～農芸化学の果たすべき役割～」
  - ・夢にチャレンジ企画賞第 2 回提案企画および第 1 回継続支援提案 審査結果発表
- 9) 産学官若手交流会（さんわか）セミナーの開催  
 産学官若手交流会（さんわか）セミナーは以下の通り 2 回開催した。
- 1 [第 38 回] 持続可能な次世代農業を支える技術～スマート農業から農芸化学的アプローチまで～（2022 年 10 月 7 日、東京大学農学部 弥生講堂 一条ホール、参加者数 22 名）
- 2 [第 39 回] 微生物 × SDGs～GX を加速する微生物科学～（2023 年 1 月 18 日、Zoom ウェビナー配信、聴講者数 142 名）

- 10) 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムの開催  
創立100周年記念事業シリーズシンポジウムとして、Visionary農芸化学100シンポジウムを下記のとおり2回開催した。
- 1 [Group B: 微生物・バイオマス利用研究領域 第3回シンポジウム]「微生物の共生・生態～世界は微生物で溢れている～」(2022年5月21日, オンライン形式, 聴講者数396名)
- 2 [Group D: 食品機能研究領域 第3回シンポジウム]「認知症の予防で、老後の生活を豊かに」(2022年9月9日, 対面とオンラインによるハイブリッド形式, 参加者数: 305名 (対面27名, オンライン聴講者278名)

#### 11) 各支部の講演会等の開催

##### 北海道支部 (3件)

- ・日本農芸化学会2022年度北海道・東北支部合同支部会 (北海道大学函館キャンパス, 9月20日～21日)
- ・日本農芸化学会2022年度北海道・東北支部合同若手の会 (湯の川観光ホテル祥苑・函館市, 9月21日～22日)
- ・2022年度 日本農芸化学会北海道支部学術講演会 (北海道大学 学術交流会館・農学部12月10日～11日)

##### 東北支部 (2件)

- ・2022年度 北海道・東北支部合同支部会・若手の会 (北海道大学, 9月20日～22日)
- ・2022年度 支部シンポジウム「農工連携が次世代の農芸化学にもたらすもの」(東北大学・ハイブリッド形式, 12月3日)

##### 関東支部 (3件)

- ・2022年度支部大会 (東京農業大学世田谷キャンパス, 8月27日)
- ・2022年度企業イベント～企業で活躍する先輩からのメッセージ～ (オンライン形式, 11月19日)
- ・2022年度支部例会 (東京大学弥生キャンパス, 11月26日)

##### 中部支部 (3件)

- ・第192回例会 受賞講演およびミニシンポジウム「食品由来成分の免疫機能制御に関する研究」(オンライン形式, 岐阜大学, 6月18日)
- ・第193回例会 受賞講演およびミニシンポジウム「栄養・エネルギー代謝研究の最前線」, 一般口頭発表 (ハイブリッド形式, 名古屋大学, 10月1日)
- ・第194回例会 受賞講演および若手ミニシンポジウム「農芸化学応用研究の新たな潮流」(オンライン形式, 富山県立大学, 11月26日)

##### 関西支部 (8件)

- ・支部例会 (第520回講演会) (オンライン形式, 京都府立大学, 5月21日)
- ・支部例会 (第521回講演会) (オンライン形式, 大阪公立大学, 7月9日)
- ・関西支部大会 (第522回講演会) (オンライン形式, 龍谷

大学, 9月15日～16日)

- ・JSBBA KANSAI 9th Student Forum (京都大学, 11月27日)
- ・支部例会 (第523回講演会) (神戸大学・ハイブリッド形式, 12月3日)
- ・第7回産学官連携シンポジウム (オンライン形式, 12月24日)
- ・賛助企業-学生交流企画「第8回もっと知ろう賛助企業」 (オンライン形式, 2月4日)
- ・支部例会 (第524回講演会) (オンライン形式, 京都大学, 2月4日)

##### 中四国支部 (3件)

- ・支部創立20周年記念 第62回 講演会 (例会) (オンライン形式, 6月4日)
- ・支部創立20周年記念 2022年度 中四国支部大会 (第63回 講演会) (レクザムホール (香川県県民ホール) および香川大学農学部, 9月21日～9月22日)
- ・支部創立20周年記念 第64回 講演会 (例会) (岡山県立大学, 1月21日)

##### 西日本支部 (5件)

- ・令和4年度日本農芸化学会西日本支部例会 (第340回講演会) (オンライン形式, 6月3日)
- ・第59回化学関連支部合同九州大会 (第341回講演会) (北九州国際会議場, 7月2日)
- ・2022年度西日本支部大会 (第342回講演会) (長崎大学文教キャンパス, 9月22日～23日)
- ・第5回学生フォーラム (第343回講演会) (オンライン形式, 11月26日)
- ・令和4年度日本農芸化学会西日本支部例会 (第344回講演会) (九州大学西新プラザ, 1月28日)

#### (3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業

- 1) 2022年度日本農芸化学会賞, 日本農芸化学会功績賞, 農芸化学技術賞, 農芸化学奨励賞, 農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞, 農芸化学女性企業研究者賞を下記のとおり表彰した。

##### 【日本農芸化学会賞】(2件, 50音順)

上口 (田中) 美弥子 (名古屋大学生物機能開発利用研究センター)

「植物ホルモン応答機構の分子基盤」

阪井康能 (京都大学大学院農学研究科)

「C1微生物の生存戦略における分子・細胞基盤の解明と機能開発」

##### 【日本農芸化学会功績賞】(2件, 50音順)

阿部敬悦 (東北大学大学院農学研究科)

「醸造微生物の細胞表層機能に関する生化学的研究とその産業応用」

奥村克純（三重大学大学院生物資源学研究科） 「動物細胞ゲノムの構造・核内動態とその制御に関する分子細胞生物学的研究」	根本理子（岡山大学学術研究院環境生命科学学域） 「生体鉱物形成に関わるタンパク質に関する研究」
【農芸化学技術賞】(2件, 50音順) 森田悠治・鈴木弘章・山崎雄大・藤原大介（キリンホールディングス株式会社） 「インフラマソーム制御を介した新しい眼の健康維持アプローチ：KW乳酸菌の開発と事業化」	能見祐理（新潟薬科大学応用生命科学部） 「マイラード反応機構解明に向けた反応生成物の一斉分析法の開発と構造決定およびその機能解析」
不二製油株式会社 「高度な酸化安定性を付与したDHA・EPA油“プロレア®”の開発と応用展開」	【農芸化学女性企業研究者賞】(2件, 50音順) 中崎瑛里（キリンホールディングス株式会社） 「機能性食品としてのシチコリンの用途開発研究」
【農芸化学奨励賞受賞】(9件, 50音順) 小川剛伸（京都大学大学院農学研究科） 「食品の内部構造が品質を支配する機構の解明」	安田亜希子（株式会社林原） 「微生物酵素を用いた新規有用糖質素材の創出」
尾崎太郎（東北大学大学院薬学研究科） 「酸化酵素を中心とした生物活性天然物の構造多様性創出機構に関する研究」	2) 第19回農芸化学研究企画賞を下記のとおり表彰した。 荒井 緑（慶應義塾大学理工学部生命情報学科） 「タンパク質ビーズ法による人工天然物エキスからの新規タウ分解分子のりの開発」
勝田 亮（東京農業大学学生命科学部） 「量子化学計算により効率化した生物活性天然有機化合物の合成と構造の解明」	丹羽隆介（筑波大学生存ダイナミクス研究センター） 「昆虫エクジステロイド生合成酵素に対する阻害剤に注目した新規殺蚊剤開発に向けた研究」
熊野匠人（筑波大学生命環境系） 「天然化合物代謝に関わるユニークな酵素の発見と機能の解明」	3) 2021年B.B.B.論文賞(11件)を下記のとおり表彰した。
瀬戸戸義哉（明治大学農学部） 「ストリゴラクトンの生合成および信号伝達メカニズムの解明」	pp. 61～68 Kumi Yoshida, Takeya Oniduka, Kinichi Oyama, and Tadao Kondo Blue flower coloration of <i>Corydalis ambigua</i> requires ferric ion and kaempferol glycoside
田中沙智（信州大学農学部） 「食品由来成分の免疫機能制御に関する研究」	pp. 440～446 Toshihide Suzuki, Makoto Shimizu, Yoshio Yamauchi, and Ryuichiro Sato Polymethoxyflavones in orange peel extract prevent skeletal muscle damage induced by eccentric exercise in rats
田中瑞己（東京農工大学大学院農学研究科） 「麹菌による有用タンパク質高生産を目指した転写および転写後発現制御機構の解析」	pp. 895～901 Takamitsu Amai, Tomoka Tsuji, Mitsuyoshi Ueda, and Kouichi Kuroda Development of a mito-CRISPR system for generating mitochondrial DNA-deleted strain in <i>Saccharomyces cerevisiae</i>
松井大亮（立命館大学学生命科学部） 「L-アミノ酸代謝関連酵素の産業利用技術に関する研究」	pp. 1005～1015 Kentaro Ochi, Maho Tokuda, Kosuke Yanagiya, Chiho Suzuki-Minakuchi, Hideaki Nojiri, Masahiro Yuki, Moriya Ohkuma, Kazuhide Kimbara, and Masaki Shintani Oxygen concentration affects frequency and range of transconjugants for the incompatibility (Inc)P-1 and P-7 plasmids pBP136 and pCAR1
山下陽子（神戸大学大学院農学研究科） 「難吸収性食品成分の組織間ネットワークを介した生理機能に関する研究」	pp. 1405～1414 Yoshino Tanaka, Yoshihiko Nanasato, Kousei Omura, Keita Endoh, Tsuyoshi Kawano, and Takashi Iwasaki Direct protein delivery into intact plant cells using polyhistidine peptides
【農芸化学女性研究者賞】(3件, 50音順) 松崎千秋（石川県立大学生物資源工学研究所） 「乳酸菌の產生する機能性菌体外多糖の医薬・食品産業への応用に向けた基盤構築」	pp. 1594～1601 Yuto Ohata, Yuuki Tetsumoto, Sayo Morita, Naoki Mori, Yoichi Ishiguri, and Naoko Yoshinaga Yuto Ohata, Yuuki Tetsumoto, Sayo Morita, Naoki Mori, Yoichi Ishiguri, and Naoko Yoshinaga
丸山明子（九州大学大学院農学研究科） 「アブラナ科植物が生産する含硫機能性化合物グルコンレートの代謝調節機構の解析」	
横井彩子（農研機構 生物機能利用研究部門） 「植物における精密ゲノム編集技術ジーンターゲッティングの高度化と汎用化に関する研究」	
【農芸化学若手女性研究者賞】(3件, 50音順) 周 英鉄（東京大学大学院農学生命科学研究科） 「天然物の健康に及ぼす影響とその分子機構の解明」	

	Triterpenes induced by young apple fruits in response to herbivore attack pp. 2076～2083	Hidetoshi Morita Fecal metabolite of a gnotobiotic mouse transplanted with gut microbiota from a patient with Alzheimer's disease
	Crucial role of the intracellular $\alpha$ -glucosidase MalT in the activation of the transcription factor AmyR essential for amylolytic gene expression in <i>Aspergillus oryzae</i> pp. 2121～2130	5) Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した（1件、被引用回数21回）。 Vol. 83, No. 5, pp. 1385～1401 Katsuya Gomi Regulatory mechanisms for amylolytic gene expression in the koji mold <i>Aspergillus oryzae</i>
	Androgen-dependent and DNA-binding-independent association of androgen receptor with chromatic regions coding androgen-induced noncoding RNAs pp. 2137～2144	6) 第2回夢にチャレンジ企画賞は下記の通り表彰した（2名）。 大藪 葵（京都府立大学生命環境科学研究所・博士前期課程2年） 「がんカヘキシアにおける筋萎縮分子機序の解析」 吉崎万莉（徳島大学大学院先端技術科学教育部・博士後期課程1年） 「地球温暖化および大気汚染を解決するためのネガティブエミッション技術としてのシアノバクテリアを用いたグリーンカーテンの開発」
	Comparison of gene expression and activation of transcription factors in organoid-derived monolayer intestinal epithelial cells and organoids pp. 2153～2160	7) 第1回夢にチャレンジ企画賞継続支援は下記の通り表彰した（2名）。 小塚康平（静岡県大院・薬食生命科学総合学府） 「次世代酵素創生技術“酵素パツモデリング”によりバイオ産業の創出を加速させる」 木村駿太（宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所） 「惑星保護と宇宙農業の両立を目指した陸棲シアノバクテリアの制御研究」
	A yeast-based screening system identified bakkenolide B contained in <i>Petasites japonicus</i> as an inhibitor of interleukin-2 production in a human T cell line pp. 2311～2321	8) 2022年企業研究者活動表彰受賞者を下記のとおり表彰した（4名）。 溝手晶子（株式会社林原） 安田亜希子（株式会社林原） 松田吉彦（味の素株式会社） 中島綾香（株式会社ユーグレナ） 9) 2022年度、支部における各賞を下記のとおり表彰した。 【日本農芸化学会北海道支部 学生会員奨励賞】1件 丹野広貴（東京農業大学大学院・生物産業学） 「ヒト酪酸产生菌の分類、多様性、およびオリゴ糖代謝」 【日本農芸化学会2022年度北海道・東北支部合同支部会 日本農芸化学会北海道・東北支部 学生優秀発表賞】10件 岸 奈々子（北大院農） 「Galactolipid類である Arabidopsis の定量分析法の確立」 石井滉久（北大院農） 「抽だい抑制化合物の農業展開に関する生物有機化学的研究」 三輪俊太（北大院水） 「メタゲノム由来新規オートインデューサー様活性物質

4) Most-Cited Paper Award を下記のとおり表彰した（1件、被引用回数27回）。

Vol. 83 No. 11, pp. 2144～2152

Yusuke Fujii, Thuy Tien Thi Nguyen, Yuta Fujimura, Naotaka Kameya, Shoji Nakamura, Kensuke Arakawa, and

- の活性機構と生理活性」  
鈴木優香（東北大院農）  
「真珠新規26 kDa マトリックスタンパク質の精製とリン酸化による機能制御」  
坂口梨菜（弘前大院農生）  
「新規低アミロース米突然変異系統 Amy41 の選抜および原因遺伝子の同定」  
渡邊秀平（北大院総合化学）  
「組み換え大腸菌を利用したポリヒドロキシアルカン酸生合成系スクリーニングによる光合成細菌由来 RuBisCO 高機能変異体の獲得」  
岡田和花（東北大院農）  
「ガラクトース溶液の単回経口投与が尿中グルコース排泄に及ぼす影響の解析」  
家代岡広海（北大院農）  
「甜茶からのステロイドホルモン分泌促進活性成分の探索および作用機構解析」  
高橋尚央（東北大院農）  
「麹菌由来hydrophobin RolA が形成する  $\beta$ -amyloid様棒状構造の伸長機構解析」  
上野佑也（東北大院農）  
「テラヘルツ光照射による DNA 損傷修復の制御」  
【2022年度 日本農芸化学会北海道支部学術講演会 日本農芸化学会北海道支部 学生優秀発表賞】2件  
若生真由美（室工大院）  
「アコヤガイ貝殻真珠層成分の  $\beta$  アミロイド沈着抑制作用」  
丹 愛佳（北大農）  
「光学活性なジャスモン酸誘導体の合成とバレイショ塊茎形成誘導における構造活性相関」  
【日本農芸化学会 東北支部 奨励賞】2件  
工藤雄大（東北大学学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部、東北大学大学院農学研究科）  
「新規化合物の探索を軸とする二次代謝産物の生合成研究」  
上杉祥太（岩手生物工学研究センター）  
「農林水産物に含まれる機能性成分の理解と活用に向けた基礎・応用研究」  
【日本農芸化学会 東北支部 若手奨励賞】2件  
目黒康洋（東北大学大学院農学研究科）  
「前例のないハイブリッド構造と新規な作用機序を有する広域抗生物質 amycolamicin の全合成研究」  
Isabella Supardi Parida（東北大学大学院農学研究科）  
「Mechanistic studies into the health benefits of iminosugar 1-deoxynojirimycin against metabolic disorders and neurodegeneration」  
【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞】  
・口頭賞（3件）  
根本健司（東大院・農生科・応生化）  
「(+)-Costic acid の合成研究」
- 本間颯太（東農大院・バイオ）  
「放線菌 Streptomyces coelicolor A3(2)M145 株における NO シグナル伝達を基盤とした形態分化制御機構の解明」  
松永優輝（東農大院・応生科・農化）  
「脂質代謝関連遺伝子発現を制御する化合物の探索と分子機構解析」  
・ポスター賞（12件）  
庄司篤史（東農大院・生命）  
「Violaceoid D の全合成および構造活性相関」  
芦崎涼介（東農大・生命）  
「ゴマダラカミキリの接触性フェロモンの合成研究」  
佐藤瑞穂（東京農大・生命・バイオ）  
「光合成アンテナ色素タンパク質フィコビリソームの人工改変」  
ZHU YUANNHAO（Grad. Sch. Agric. Life Sci., Utokyo）  
「Benzene oxidation in the anaerobic degradation pathway of *Azoarcus* sp. DN11」  
日比玄紀（東大院・農生科・応生工）  
「特殊アミノ酸シスペンタシンの生産とその生合成機構の解析」  
前田典歩（筑波大・生命環境）  
「*Cupriavidus* sp. LA-1 株によるルマジン分解機構の解明」  
西井麻貴（明大院・農・農化）  
「真核微細藻類 *Cyanidioschyzon merolae* 由来クエン酸シンターゼの有機酸による影響」  
石井真央（東農大・応生科・農化）  
「がん抑制タンパク質 TSC 複合体の新規結合タンパク質の探索と機能解析」  
高橋尚子（東京農大・応生科・食品安全健康）  
「新規評価系を用いた褐色様脂肪細胞に対する食品成分の抗炎症作用の解析」  
大川大地（明治大・農）  
「条件的根寄生植物コシオガマの SL 生合成酵素 CCD8, MAX1, CLAMT ホモログの機能解析」  
鈴木泰輝（明大院・農）  
「ケイヒ酸を骨格とした新規ストリゴラクトンアナログの合成」  
佐伯靖将（東農大・バイオ）  
「シストセンチュウの宿主認識に関与する遺伝子の探索」  
【日本農芸化学会中部支部 第193回例会 企業奨励賞（優秀発表賞】3件  
大倉優輝（名古屋大学 農学部 応用生命科学科 天然物ケミカルバイオロジー研究室）  
「ケム・バイオハイブリッド合成を駆使した赤痢アメバ症治療薬の創製」  
坂野新太（岐阜大学 応用生物科学部）  
「生理的血中濃度の FP (フェニルアラニン・プロリン) は、肝臓細胞 HepG2 においてコレステロール代謝を改善する」

清 日香（名古屋大学 大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻）

「尿中細胞外小胞を用いた糖尿病性腎症早期段階の解析」

【日本農芸化学会中部支部 第193回例会 学術奨励賞（優秀発表賞）】5件

福岡 凌（名古屋大学 大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻）

「トガリネズミ由来神経毒ペプチドのヒトアナログ

Synenkephalin の合成研究」

大倉優輝（名古屋大学 農学部 応用生命科学科 天然物ケミカルバイオロジー研究室）

「ケム・バイオハイブリッド合成を駆使した赤痢アメバ症治療薬の創製」

小玉洋輝（岐阜大学大学院 自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻）

「茶カテキン酸化反応における位置選択性に関する研究」

遠藤真悠子（名古屋大学 大学院創薬科学研究科 基盤創薬学専攻）

「空気暴露依存的な表皮形成機構への低酸素誘導因子の関与」

菅野美月（静岡大学 大学院総合科学技術研究科 工学専攻）

「緑膿菌バイオフィルムのライフサイクルに関与する因

子と膜小胞産生の連関」

【日本農芸化学会関西支部 第520回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

雨坂心人（京府大院・生命環境）

「HSbody, a heat sterilizable antibody-mimetic—加熱殺菌可能な新規抗体模倣分子の創生—」

【日本農芸化学会関西支部 第521回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

小前奏明（阪公大院・理）

「新規の機能性酸化代謝産物 2-オキソイミダゾールジペプチドの抗酸化メカニズムに関する研究」

【日本農芸化学会関西支部大会（第522回講演会） 優秀発表賞（支部長推薦）】2件

清家みどり（神大院・農）

「油脂はその種類により肥満発症だけでなく時計遺伝子の発現リズムの変動ももたらす」

上島聰音理（京大・農）

「*Grimontia hollisae* コラゲナーゼのX線結晶構造と触媒反応から明らかになったコラーゲンに対する新規な基質特異性」

【日本農芸化学会関西支部大会（第522回講演会） 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件

加古有宜子（京大院・農）

「納豆菌の豆類発酵におけるマルチオミクス」

【日本農芸化学会関西支部 第523回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

矢野真実子（京府大院・生命環境）

「フラクトオリゴ糖合成酵素の基質特異性の改変」

【日本農芸化学会関西支部 第523回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件

大橋咲予（神大院・科学技術イノベーション）

「オーバーフロー代謝センサー AlsR を利用したフィードバック制御による増殖阻害抑制法の開発」

【日本農芸化学会関西支部 第524回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件

片所杏野（京大院・農）

「*Gordonibacter urolithinfaciens* DSM 27213 由来エラグ酸ラクトナーゼの同定と機能解析」

【日本農芸化学会関西支部 第524回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件

山田真実（京大院・農）

「グルカゴンによるタンパク質の食欲調節メカニズムに関する研究」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞】1件

緋田安希子（広島大学大学院統合生命科学研究科）

「植物関連細菌の走化性に関する研究」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞（学生部門）】34件

北山慎太郎（鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科）

富井あやめ（島根大学大学院自然科学研究科）

吉田磨生（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

高橋莉史（岡山理科大学大学院理学研究科）

丸岡紗也（岡山県立大学大学院保健福祉学研究科）

吉見太佑（広島大学大学院統合生命科学研究科）

古原優希（広島大学大学院統合生命科学研究科）

宮崎真洋（山口大学大学院 創成科学研究科）

石原瑞希（水産大学校 水産学研究科）

久岡志帆（香川大学大学院農学研究科）

吉原健太郎（愛媛大学大学院農学研究科）

町田龍晟（高知工科大学 環境理工学群）

小寺康太（鳥取大学 農学部）

清水美祐（米子工業高等専門学校 物質工学科）

内藤一真（島根大学生物資源科学部）

川上達磨（岡山大学工学部）

谷末陽菜（岡山大学農学部）

末廣悠太（岡山大学薬学部）

岡本知子（岡山県立大学 保健福祉学部）

山崎有菜（くらしき作陽大学食文化学部）

工藤綾音（広島大学生物生産学部）

堤 麻結（広島大学工学部）

森口大輔（近畿大学工学部）

古橋代都（山口大学工学部）

松原愛奈美（山口大学農学部）

辻本春樹（水産大学校食品科学科）

池田彩音（山口県立大学看護栄養学部）

堀池果鈴（宇部工業高等専門学校物質工学科）

藤本彩花（宇部フロンティア大学短期大学部食物栄養学科）

- 和氣由尚（香川大学農学部）  
 中川知寛（香川大学農学部）  
 辻岡芽依（愛媛大学農学部）  
 橋村寧々（徳島大学生物資源産業学部）  
 阿部隆人（高知大学農林海洋科学部）  
**【日本農芸化学会西日本支部 第341回講演会 優秀発表賞】**  
 12件  
 横原里咲（九大院・生資環）  
 「血中ペプチド網羅解析のための Coumarin 誘導体化 MALDI-MS 法の構築」  
 福本昂平（九大院・生資環）  
 「無保護ペプチドジチオールのロジウム触媒的メチレン架橋環化反応の開発」  
 瀬々航紀（九大院・生資環）  
 「大豆ペプチド摂取によるマウスのうつ様症状改善効果と脳内分子発現変化」  
 野辺愛耶（九大院・生資環）  
 「がん細胞の浸潤における線維芽細胞の影響」  
 矢崎雅菜（九大院・生資環）  
 「ロジウム触媒による無保護ペプチドジスルフィドへのアリール基挿入反応」  
 石原一輝（九大院・生資環）  
 「*Vibrio parahaemolyticus* に由来するトランスポゾンの配列特異的な DNA 転移に関する研究」  
 中島夢人（九大院・生資環）  
 「RNA-Seq 解析から同定された発達期タンパク質栄養制限による脳内オキシトシンシグナルの調節不全」  
 脇野若奈（九大院・生資環）  
 「黄麹菌のエンドサイトーシス経路における初期エンドソーム動態の生理機能解析」  
 小山恵璃（九大院・生資環）  
 「リーダーレスバクテリオシン・ラクティシン Q 生合成機構の大腸菌での再構築」  
 松井優樹（九大院・生資環）  
 「緑茶成分ストリクチニンの老齢マウスにおける認知機能改善効果」  
 丸岡早紀（佐賀大院・先進）  
 「X線吸収微細構造解析によるファミリー II 亜鉛無機ビロホスファターゼのユニークな触媒反応機構の解明」  
 浅羽純玲（九大院・生資環）  
 「ヒト腸管 L 細胞におけるテアフラビン類のインクレチン分泌促進作用の解明」  
**【2022年度西日本支部大会 第342回講演会 優秀発表賞】** 7件  
**〈博士の部〉**  
 丹生谷颯人（九大院・生資環）  
 「ETFQO の破壊はラビリンチュラ類の脂肪酸資化能を損なう」  
 李 寛雨（九大院・生資環）  
 「ペントガロイルグルコース摂取による老齢マウスの認知機能向上作用」  
**〈修士の部〉**  
 浦 敦人（兵庫県立大・院・理）  
 「ヒトの細胞内における鉄イオンの輸送と貯蔵の分子メカニズム」  
 榎原夢未（鹿児島大院・農林水産）  
 「血管弛緩により高血圧予防に寄与するオクラの解析」  
 辻 さやか（佐賀大院・農）  
 「反応中間体捕捉から解き明かすミモシン合成酵素の 2 機能性獲得機構」  
 野寄裕暉慧（九大院・生資環）  
 「希少糖 5-ケト-D-フルクトースの油脂酵母 *Lipomyces starkeyi* における代謝経路の解析」  
 渡邊凌矢（九大院・生資環）  
 「食品由来マイクロ RNA のコレステロール合成酵素発現調節作用」  
**【日本農芸化学会西日本支部 第343回講演会 優秀発表賞】** 2件  
 Shiori Tamura (Grad. Sch. Biosci. Biotechnol. Sci., Kyushu Univ.)  
 "Cross-sectional study on association between gut microbiota and metabolic disorder"  
 Kanako Doi (Grad. Sch. Biosci. Biotechnol. Sci., Kyushu Univ.)  
 "Characterization of novel ENGases from *B. intestinihominis* that hydrolyze complex type N-glycans"  
**【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞（学生の部）】** 1件  
 張 柳（九州大学大学院生物資源環境科学府）  
 「硫黄不足時のグルコシノレート分解に働く  $\beta$ -グルコシダーゼの同定と植物の生長における意義」
- (4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の発展を目的とする事業**
- 農芸化学研究企画賞の助成 ※100周年記念事業（一部）第19回農芸化学研究企画賞の2件に4,000,000円、第2回夢にチャレンジ企画賞の2件に1,000,000円、第1回夢にチャレンジ企画賞継続支援の2件に700,000円を助成した。第19回農芸化学研究企画賞の助成金へ下記16社より23口の御寄附をいただいた。アサヒクリオティアンドイノベーションズ(株), 味の素(株), 天野エンザイム(株), (株)カネカ, キッコーマン(株), 協和发酵バイオ(株), キリンホールディングス(株), 月桂冠(株), サッポロビール(株), サントリーウエルネス(株), 日清オイリオグループ(株), (株)明治, 森永乳業(株), ヤマサ醤油(株), 雪印メグミルク(株), ライオン(株)
  - 農芸化学中小企業产学・産官連携研究助成 ※100周年記念事業 第4回農芸化学中小企業产学・産官連携研究助成の7件に6,950,000円を助成した。

- 戸田雅子・木村 純（東北大学大学院 農学研究科・株式会社田伝むし）  
「無農薬栽培米および無肥料自然栽培米の免疫機能性の解析」1,000,000円
- 藤田直子・中村保典（秋田県立大学生物資源科学部・株式会社スターチテック）  
「レジスタンストスターを多く含む米品種「まんぷくすらり」を使った加工食品の開発」1,000,000円
- 勝野那嘉子・藤村 誠（岐阜大学応用生物科学部・株式会社真誠）  
「ゴマペーストの物性とおいしさの制御」1,000,000円
- 黒田俊一・久保賢治（大阪大学産業科学研究所・株式会社香味醸酵）  
「ヒト嗅覚受容体センサーによる全ての匂い・香り情報のデジタル化」1,000,000円
- 若山 守・黒野 剛（立命館大学生命科学部・D アミノ酸ラボ株式会社）  
「D-アミノ酸の酵素定量法の開発」950,000円
- 荒川健佑・村上允唯（岡山大学大学院環境生命科学研究科・株式会社機能性食品開発研究所）  
「伝統味噌由来乳酸球菌が產生する細胞外多糖の産業利用に向けて」1,000,000円
- 土居克実・馬渡志郎（九州大学大学院農学研究院・レオロジー機能食品研究所）  
「プラズマローベン代謝を行う発酵細菌の同定と多様なプラズマローベン分子種を含む発酵食品の開発」1,000,000円
- 3) 農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の助成 ※100周年記念事業 第2回農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の3件に3,000,000円を助成した。
- 南雲陽子（筑波大学生命環境系・助教）  
「天然由来タイトジャングション透過促進物質の標的解析」1,000,000円
- 八波利恵（東京工業大学生命理工学院・准教授）  
「塩付着プラスチックごみの分解：新規耐塩化・耐塩性酵素を用いた環境修復と保護」1,000,000円
- 山口亜佐子（大阪府立大学大学院理学系研究科・博士研究員）  
「シガテラ中毒の治療に向けたヒト化抗シガトキシン抗体の創製」1,000,000円
- 4) 農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の助成 ※100周年記念事業 第2回農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の3件に1,500,000円を助成した。
- 逢坂文那（北海道大学大学院農学研究院・助教）  
「高脂肪食による腸管粘膜免疫制御に寄与するmicroRNAの発現解析」500,000円
- 田中沙智（信州大学農学部・准教授）  
「免疫マーカーの探索と免疫賦活食品への応用に関する研究」500,000円
- 西藤有希奈（京都大学院生命科学研究科・特定助教）  
「消化管における亜鉛吸収機構の全容解明と亜鉛欠乏症への改善法の確立」500,000円
- 5) 研究奨励金、国際会議出席費補助金の助成
- 第50回 研究奨励金 5件 2,500,000円**
- 竹内道樹（京都大学大学院農学研究科・特定助教）  
「電極による「電子供与システム」を活用する微生物探索」500,000円
- 中川 優（名古屋大学糖鎖生命コア研究所・准教授）  
「糖結合性天然物に基づく変異対応型抗ウイルス薬の開発」500,000円
- 松田真弥（筑波大学生命環境系・特任助教）  
「天然物生合成遺伝子によるがん治療の基盤技術開発」500,000円
- 松村成暢（大阪公立大学生活科学研究科・准教授）  
「脳の異常が‘代謝的に不健康的な脂肪組織’生み出す機構の解明」500,000円
- 古山祐貴（東京理科大学理工学部応用生物科学科・助教）  
「イネいもち病菌と放線菌との相互作用を成立させる分子機構の解明」500,000円
- 第77回 国際会議出席費補助金 2件 400,000円**
- 【院生枠】2件 400,000円 ※100周年記念事業  
鶴留奈津子（鹿児島大学大学院連合農学研究科・博士課程3年）  
「第21回世界食品科学技術会議」(2022/10/31～11/3  
シンガポール共和国) 200,000円
- 近藤直純（北里大学感染制御科学府・博士課程2年）  
「ゲノム時代の天然物の発見と開発に関する第4回国際会議」(2023/1/8～1/12 サンディエゴ／アメリカ)  
200,000円
- 第78回 国際会議出席費補助金 4件 800,000円**
- 【一般枠】2件 400,000円  
田中知成（京都工芸繊維大学繊維学系・准教授）  
「第21回欧洲糖質会議」(2023/7/9～7/13 パリ／フランス) 200,000円
- 宮腰昌利（筑波大学医学医療系・准教授）  
「微生物と RNA2023」(2023/9/5～9/8 フロリダ／アメリカ) 200,000円
- 【院生枠】2件 400,000円 ※100周年記念事業  
石川 萌（京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻・博士課程学生）  
「生体エネルギーードン会議」(2023/6/24～6/30  
アメリカ) 200,000円
- 海老原佳奈（筑波大学大学院生命地球科学研究群生物学学位プログラム・大学院生）  
「国際昆虫ホルモンワークショップ」(2023/6/18～  
6/24 カリフォルニア／アメリカ) 200,000円
- 6) 外国人等講演会の開催補助  
2022年度の申請はなかった。

## 7) 国際シンポジウムの開催補助

2022年度の申請はなかった。

## 8) 藪田講演会の開催補助

2022年度の申請はなかった。

## 9) 藪田セミナーの開催補助

2022年度の申請はなかった。

## 10) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助

2022年度の申請はなかった。

## 11) 中学校・高等学校への出前授業

2022年度は下記のとおり、全5回開催した。

- 1 [第63回] 2022年3月23日（水）大阪府守口市立第一中学校  
「毒をもつ生き物—毒は怖いが役に立つ—」講師：宮下正弘氏（京都大学農学研究科応用生命科学専攻生物調節化学研究室 准教授）聴講者：生徒148名

- 2 [第64回] 2022年9月30日（金）愛知県瀬戸市立光陵中学校「見えない酵素の力—食と酵素の科学」講師：森田真央氏（天野エンザイム株式会社イノベーションセンター開発一部（油脂・合成・糖担当）糖・食品改良チーム）聴講者：生徒68名

- 3 [第65回] 2022年10月18日（火）兵庫県神戸市立竜が台中学校「食品を透明にすることで見える！食感の秘密」講師：小川剛伸氏（京都大学大学院 農学研究科食品生物科学専攻 助教）聴講者：生徒59名

- 4 [第66回] 2022年11月29日（火）千葉県私立成田高等学校「ビフィズス菌の酵素のかたちを知る～ヒトとの共生関係について～」講師：伏信進矢氏（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）聴講者：生徒67名

- 5 [第67回] 2023年2月24日（金）東京都都立両国高等学校附属中学校「酵母、発酵の魅力とそれに魅せられた研究者たち」講師：吉田聰氏（キリンホールディングス（株）R&D本部飲料未来研究所 リサーチフェロー）聴講者：生徒110名

## 12) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助

北海道支部

## 【講演会補助事業】2件

申請者：奥山正幸（北大院農）

「Understanding structure/function/activity relations of enzymes from the purine metabolism and carbohydrate active enzymes: two case studies」

Nushin Aghajari (CNRS-University of Lyon1, France)

補助額10,000円

申請者 浦木康光（北大院農）

「オールセルロース・エレクトロニクスに向けて～ナノセルロースの半導体化とデバイス応用～」

古賀大尚（大阪大学産業科学研究所）

補助額10,000円

東北支部

## 【提案公募事業】1件

申請者：高橋征司（東北大学大学院工学研究科）

第3回天然ゴム研究会「天然ゴムに学ぶサーキュラー・バイオエコノミー社会におけるものづくり」（天然ゴム研究会主催、イソプレノイド研究会共催）

補助総額100,000円

関東支部

## 【若手発案企画】2件

申請者：上田大次郎（新潟大学）

「脂溶性ビタミン研究の最前線」

開催日：2022年09月22日

会場：ハイブリッド（新潟大学農学部C110教室・zoomを使ったオンライン）

補助総額100,000円

申請者：渡辺智（東京農業大学）

「第20回 微生物研究会「宇宙・極限環境の微生物とその利用」」

開催日：2022年10月29日

会場：千葉大学松戸キャンパス

補助総額100,000円

関西支部

## 【提案公募事業】1件

申請者：三芳秀人（京大院・農）

日本生体エネルギー研究会 第48回討論会 開催補助金

補助総額200,000円

## 13) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助

北海道支部

日本農芸化学会2022年度大会（京都）

4名（そのうち新規入会学生4名）補助総額16,000円

日本農芸化学会2022年度 北海道・東北支部 合同支部会（函館）参加補助金

18名（そのうち新規入会学生8名）補助総額478,583円

2022年度日本農芸化学会北海道支部学術講演会（札幌）

2名（そのうち新規入会学生2名）補助総額40,118円

東北支部

北海道・東北支部合同支部会・若手の会（函館）参加補助金

33名 補助総額475,830円

## 【その他の事業】

## (1) 事業活動の公開と情報発信事業

- 1) ホームページ及びパンフレットによる本会の活動内容等の公開（日本語版・英語版）し、日本語版の学会ホームページから誰でも検索可能できる農芸化学関連大学大院の研究科一覧の更新をした。

- 2) ニュースメール及びSNSの活用、本会の活動内容等の逐次発信

2022年はメールアドレス登録会員向けニュースメールを50回配信した。メールアドレス登録者は2023年2月現

在約6,448名である。

支部の会員に限定し、支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部5回、東北支部3回、関東支部6回、中部支部11回、関西支部5回、中四国支部17回、西日本支部18回。行事の開催情報をSNSで発信した。

### 3) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2022年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 23件（国内16件、海外7件）

国内：

- ・国会図書館
- ・農林水産省図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報研修館
- ・国際医学情報センター
- ・日本化学会
- ・日本生化学会
- ・日本生物工学会
- ・日本薬学会
- ・繊維学会
- ・バイオインダストリー協会
- ・日本香料協会
- ・有機化学合成協会
- ・山陽技術振興会
- ・科学新聞社
- ・インフォーマーマーケットジャパン(株)「食品と開発」編集部

海外：

- ・中国農業化学会（台）
- ・The British Library（英）
- ・The Science Library Science Museum（英）
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences（中）
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences（中）
- ・Chemical Abstracts Service（米）
- ・USDA National Agricultural Library（米）

※Russian Academy of Sciences Library（露）はロシア宛ての国際郵便物の引受一時停止により送付停止中

[英文誌の寄贈・交換] 12件（国内4件、海外8件）

国内：

- ・国会図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報研修館
- ・日本薬学会

海外：

- ・The British Library（英）
- ・China National Chemical Information Center（中）
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences（中）
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division（米）
- ・The Library Publications & Information Directorate（印）
- ・Institute of Organic Chemistry & Biochemistry（チェコ）
- ・Agricultural Science in Finland（フィンランド）
- ・I.N.R.A.C.R.de Jouy-en-Josas Domaine de Vilvert Unite Centrale de Documentation（仏）

※The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences (露), Russian Academy of Sciences Library (露)はロシア宛ての国際郵便物の引受一時停止により送付停止中

4) フェロー制度を活用、本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えるとともに、本会の更なる発展へ向けての活動を嘱する。

2022年度新たな承認はなかった。現在93名の承認者となっている。

### [2014～2018年度承認93名]

麻田恭彦、浅野泰久、安達修二、阿部啓子、安部康久、池田郁男、伊藤幸成、稻垣賢二、井上國世、植田和光、内海俊彦、内海龍太郎、生方信、裏出令子、江坂宗春、遠藤銀朗、大澤俊彦、大島敏久、大東肇、長田裕之、小鹿一、尾添嘉久、小田耕平、加藤陽治、加納健司、上村一雄、河合富佐子、河岸洋和、川端潤、神崎浩、木曾真、北本勝ひこ、木村誠、工藤俊章、久原哲、熊谷日登美、河野憲二、後藤俊男、小林哲夫、駒井三千夫、五味勝也、小山泰二、沢村正義、重岡成、清水(肖)金忠、新免芳史、水光正仁、須貝威、菅沼俊彦、關谷次郎、園元謙二、田中啓司、田之倉優、土屋英子、寺尾純二、徳田元、戸坂修、中野長久、西田律夫、早川茂、林英雄、原博、深見治一、福田恵温、福田雅夫、伏木亨、藤田泰太郎、古川謙介、前島正義、牧正敏、正木春彦、松井博和、松尾憲忠、松下一信、松田譲、松本正吾、宮川都吉、宮澤陽夫、三輪清志、三輪操、村田幸作、森信寛、柳田晃良、山田耕路、山田守、山根久和、山本憲二、山本万里、横関健三、横田孝雄、吉澤結子、吉田稔、依田幸司

## (2) 関連学協会、産業界、官界等との連携・協力の推進事業

1) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した。

2) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した。

2022年度に開催したサイエンスカフェのうち、第141回「土佐の食材とSDGs」、第143回「ワサビはなぜ辛い？—100万年の進化の謎に迫る」、第144回「食べてアンチエイジング！」、第145回「植物のコミュニケーションの不思議と無農薬栽培への応用！」を日本学術会議農芸化学分科会との共催とした。

3) 日本農学会に評議員、運営委員として会員を派遣し、活動した。

2022年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し、日本農学会評議員会に副会長2名、庶務理事が出席した。また2023年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。

4) 農学会の農学教育推進委員会に委員として会員を派遣し、活動した。

農学会の農学教育推進委員会及び農学一般関連分野審査委員会にJABEE対応委員長が出席した。また、第21回日本農学進歩賞に本会から2件を推薦した。

- 5) 日本技術者教育認定機構（JABEE）の農学一般関連分野に審査員を派遣した。
- 6) 農学会の農学教育推進委員会が主催した「JABEE基準改定に関する勉強会」に本会会員が出席した。
- 7) 化学情報協会の正会員として、活動した。
- 8) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した。
- 9) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し、活動した。

日本光生物学協会委員会に本会会員1名が出席した。

- 10) 日本微生物学連盟に会員、理事として参加し、活動した。

日本微生物学連盟理事会に本会代表として出版担当理事が出席した。

- 11) 日本昆虫科学連合に会員として参加し、活動した。

日本昆虫科学連合総会に本会会員2名が出席した。

- 12) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し、活動した。

- ・男女共同参画学協会連絡会運営委員会及び社員総会にダイバーシティ推進委員が出席した。
- ・第20期連絡会シンポジウムにダイバーシティ推進委員が参加した。
- ・加盟学会の2022年活動調査について本会の結果を報告した。
- ・女子中高生夏の学校2022にダイバーシティ推進委員が参加し、本会の活動を紹介した。

- 13) 生物科学学会連合に会員として参加、活動した。

- 14) ニュージーランド大使館-日本農芸化学会-「知」の集積と活用の場(FKII)共催イベント「代謝と育種(Metabolites and Breeding)」を開催した。(12月2日、東京都渋谷区ニュージーランド大使館)

- 15) 国内学術集会の共催・協賛・後援

#### 【2022年】(81件)

- ・「食」により「人と社会と地球」の健康を創造するためのバイオ技術研究会（仮称）設立準備勉強会 第3回 ムーンショット型農林水産研究開発事業と未来の食料生産のビジョン（Web開催）《後援》(4月6日)
- ・ACT-X「環境とバイオテクノロジー」は地球環境の危機を救う！II（Web開催）《後援》(4月11日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「テクニカルシリーズI ゴーストサイトメトリーの応用展開～細胞形態情報に基づくAI駆動型高速セルソーティング技術」(Web開催)《後援》(4月13日)
- ・緊急特別講演X「新型コロナウイルスとの対峙：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者に対する5-アミノレブリン酸(5-ALA)を用いた特定臨床研究の結果」(Web開催)《後援》(4月18日)

- ・第9回日本微生物学連盟フォーラム（Web開催）《後援》(4月23日)
- ・宮田 満のバイオ・アメイジング～緊急対談：バイオのあの話題はこれからどうなる？！「コロナ禍を超えて躍進するmRNA医薬」《後援》Web開催)《後援》(5月12日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会 SDGsと未来食シリーズ3「未来食のビジョン～ユニバーサル・完全栄養・AIサポート」(Web開催)《後援》(5月19日)
- ・「食」により「人と社会と地球」の健康を創造するためのバイオ技術研究会（仮称）設立準備勉強会 第4回 食用・飼料用昆蟲生産研究の最前線 (Web開催)《後援》(5月23日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「テクニカルシリーズⅡ AlphaFold2が与えた実験構造生物学への衝撃」(Web開催)《後援》(5月25日)
- ・第22回マリンバイオテクノロジー学会大会 (Web開催)《後援》(5月28-29日)
- ・界面コロイドラーニング—第38回現代コロイド・界面化学基礎講座— (Web開催)《後援》(6月2-3日)
- ・第32回万有福岡シンポジウム（九大）《後援》(6月4日)
- ・「食」により「人と社会と地球」の健康を創造するためのバイオ技術研究会（仮称）設立準備勉強会 第5回「食文化・心理・倫理」からフードテックを考える (Web開催)《後援》(6月17日)
- ・第372回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(6月23日)
- ・熱測定オンライン講習会2022 (Web開催)《後援》(6月17日から5回)
- ・3大学+1企業産学連携オンラインセミナー～畑から食卓まで、美味しさと安心がつなぐ食品の科学～ (Web開催)《後援》(6月23日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「テクニカルシリーズⅢ 細胞の分子相互作用の次世代分析法～免疫療法および細胞療法の開発を支えるバイオチップ～」(Web開催)《後援》(6月24日)
- ・第55回天然物化学談話会 (Web開催)《後援》(6月24-25日)
- ・第120回有機合成シンポジウム (Web開催)《後援》(6月28-29日)
- ・環境バイオテクノロジー学会第80回シンポジウム「グリーンイノベーションと環境バイオテクノロジー」(Web開催)《後援》(7月1日)
- ・新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」取りまとめシンポジウム（京大）《後援》(7月9日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会 シリーズ：Withコロナ時代を生きる！①「新型コロナウイルス活性を消失せよ！」(Web開催)《後援》(7月14日)
- ・セルロース学会第29回年次大会（金沢）《後援》(7月

- 21-22日)
- ・日本包装学会第31回年次大会(7月21-22日)
  - ・第373回液体クロマトグラフィー研究懇談会(Web開催)《後援》(7月27日)
  - ・「食」により「人と社会と地球」の健康を創造するためのバイオ技術研究会(仮称)設立準備勉強会 第6回「トップリーダー&トップランナーと語る!~食による新産業の創出」(Web開催)《後援》(7月29日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「テクニカルシリーズIV 世界最高精度の全遺伝子発現解析技術」(Web開催)《後援》(7月29日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「生物間コミュニケーションは未来を拓く」(Web開催)《後援》(8月5日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「シン・育種法」(Web開催)《後援》(8月8日)
  - ・日本学術会議食料科学委員会・農学委員会合同農芸化学分科会主催連続公開シンポジウム『SDGs達成に向けた農芸化学の挑戦』第三回『微生物や微生物菌叢への革新的機能付与・機能制御の新展開』(Web開催)《後援》(8月18日)
  - ・第12回高校生バイオサミット in 鶴岡(慶應大)《後援》(8月22-24日)
  - ・Food Bio Plus研究会(仮称)設立準備勉強会 第7回 日本企業の参入事例と国際動向からみた我が国のフードテックの進め方 (Web開催)《後援》(8月26日)
  - ・2022年度 日本冷凍空調学会年次大会(9月7-9日)
  - ・第38回シクロデキストリンシンポジウム(さいたま)《後援》(9月10-11日)
  - ・多様性推進シンポジウム(ハイブリッド(東京)開催)《後援》(9月15日)
  - ・第73回コロイドおよび界面化学討論会(広島大)《後援》(9月20-22日)
  - ・第32回イソプレノイド研究会例会(新潟大)《後援》(9月22日)
  - ・未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西(大阪)《後援》(9月22日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「過熱する創薬モダリティ多様化をめぐる7つの話題」(Web開催)《後援》(9月26日)
  - ・バイオエンジニアリング研究会小委員会「バイオDXに向けた人材育成—技術伝承から新産業分野まで」講演会 DX人材と技術伝承 (Web開催)《後援》(9月27日)
  - ・第19回高付加価値食品開発のためのフォーラム(京都)《後援》(9月27-28日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「テクニカルシリーズV 細胞の重要品質特性(CQA)研究が可能にしたQulaity by Design(QbD)による細胞製造とは何か?~漸く始動した細胞製造業界の第4次産業革命~」(Web開催)《後援》(9月28日)
  - ・第375回液体クロマトグラフィー研究懇談会(Web開催)《後援》(9月29日)
  - ・第26回液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会 特別講演会・見学会(東京)《後援》(9月30日)
  - ・Food Bio Plus研究会 説明会～新規開発食品の受容の方策とは (Web開催)《後援》(10月3日)
  - ・第34回 万有札幌シンポジウム 有機化学: センスとこだわりが生み出す分子たち(北大)《後援》(10月8日)
  - ・第70回レオロジー討論会(金沢)《後援》(10月13-14日)
  - ・第376回液体クロマトグラフィー研究懇談会(10月20日)
  - ・第27回静岡健康・長寿学術フォーラム(静岡)《後援》(10月21日)
  - ・第58回熱測定討論会(早大およびWeb開催)《後援》(10月26-28日)
  - ・未来へのバイオ技術勉強会「テクニカルシリーズVI 治療パラダイムとしてのタンパク質近接のマッピングと操作」(Web開催)《後援》(10月28日)
  - ・第17回日本たまご研究会(Egg Science Forum 2022)(京都女子大およびWeb開催)《後援》(10月29日)
  - ・第11回Global Plasma Forum「低温プラズマと植物科学の最新の話題から」(Web開催)《後援》(10月31日)
  - ・岡山大学寄付講座「微生物インダストリー講座」開設記念シンポジウム『麹を活かした「ものづくり」固体培養が生み出す発酵のイノベーション』(岡山)《後援》(11月1日)
  - ・未来へのバイオ技術勉強会 SDGsと未来食シリーズ4「次世代肉をさらに美味しい!自由に!」(Web開催)《後援》(11月4日)
  - ・第66回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(琉球大)《後援》(11月5-7日)
  - ・第121回有機合成シンポジウム(早大)《後援》(11月8-9日)
  - ・日本清涼飲料研究会「第31回研究発表会」(東京)《後援》(11月8日)
  - ・日本希土類学会第40回講演会(横浜)《後援》(11月9日)
  - ・第50回構造活性相関シンポジウム(Web開催)《後援》(11月10-11日)
  - ・第21回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎: 食感・風味の制御に向けて—(東京)《後援》(11月10-11日)
  - ・フード・フォラム・つくば 秋の例会(ハイブリッド(東京)開催)《後援》(11月11日)
  - ・2022年度公開講演会 大豆のはたらき in 仙台一人と地球を健康に—(仙台)《後援》(11月12日)
  - ・生物発光化学発光研究会 第37回学術講演会(和歌山県立医大)《後援》(11月12日)
  - ・HPLC & LC/MS講習会2022(東京)《後援》(11月18日)
  - ・公開シンポジウム「東日本大震災に係る食料問題フォー

- ラム 2022」(福島)《後援》(11月 19 日)
- ・第 377 回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web 開催)《後援》(11月 22 日)
  - ・第19回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム (岐阜)《後援》(11月 21-22 日)
  - ・LC- & LC/MS-DAYs 2022 ～人財育成～ (箱根)《後援》(11月 24-25 日)
  - ・日本学術会議食料科学委員会・農学委員会合同農芸化学分科会主催連続公開シンポジウム『SDGs達成に向けた農芸化学の挑戦』第四回『植物科学からサステイナブルな農業生産・ものづくりへ』(Web 開催)《後援》(11月 29 日)
  - ・未来へのバイオ技術 勉強会「バイオ素材百花繚乱17～SDGsへの道」(Web 開催)《後援》(11月 30 日)
  - ・Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022 (横浜)《後援》(11月 30 日-12月 3 日)
  - ・LC シニアクラブ (LC Senior Club, LCSCL) 設立総会 (Web 開催)《後援》(12月 3 日)
  - ・革新的環境技術シンポジウム 2022～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～ (ハイブリッド (東京) 開催)《後援》(12月 7 日)
  - ・第49回炭素材料学会年会 (姫路)《後援》(12月 7-9 日)
  - ・有機典型元素化学討論会 (富山)《後援》(12月 8-10 日)
  - ・バイオエンジニアリング研究会 テクニカルセミナー 1 「バイオ医薬品の連続生産技術—どんな製品に対してどう使うのか—Continuous bioprocessing technology—how to use it for what kind of product—」(Web 開催)《後援》(12月 9 日)
  - ・第378回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web 開催)《後援》(12月 23 日)
- [2023年] (40件)**
- ・第34回高分子ゲル討論会 (東大)《後援》(1月 19 日)
  - ・第28回 LC & LC/MS テクノプラザ (Web 開催)《後援》(1月 19-20 日)
  - ・第27回液体クロマトグラフィー研究懇談会 特別講演会・見学会 (東京)《後援》(1月 23 日)
  - ・原子力総合シンポジウム 2022 (ハイブリッド (東京)) 開催)《後援》(1月 26 日)
  - ・第40回コロイド・界面技術シンポジウムコロイド「界面化学が叶える、持続可能な社会 ～ミクロな一歩でマクロに貢献～」(Web 開催)《後援》(1月 26-27 日)
  - ・第379回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web 開催)《後援》(1月 27 日)
  - ・3大学+1企業産学連携アグリ食品セミナー「2030年の食卓」(ハイブリッド (東京) 開催)《後援》(1月 27 日)
  - ・第28回高専シンポジウム (米子)《後援》(1月 28 日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会 SDGs と未来食シリーズ 5 「次世代食の受容拡大のための 3 つのチャレンジ！！」(Web 開催)《後援》(1月 31 日)
  - ・食品領域の動物実験代替—現状と動向、未来に向けた取り組み— (Web 開催)《後援》(2月 3 日)
  - ・バイオエンジニアリング研究会 見学会・講演会「サモフィッシュヤーサイエンティフィック 再生医療クリエイティブ・エクスペリエンス・ラボ (T-CEL) (Web 開催)《後援》(2月 8 日)
  - ・Cutting-edge Bio-seminar 1 「Cutting-edge 技術の市場拡充のカギを探る」(Web 開催)《後援》(2月 13 日)
  - ・緊急特別 セミナー令和4年度補正予算案のポイントバイオものづくり革命推進事業とデュアルユース製造拠点整備を中心に (Web 開催)《後援》(2月 16 日)
  - ・日本栄養・食糧学会 関東支部第25回健康栄養シンポジウム (Web 開催)《後援》(2月 18 日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会：オンラインおよびリアル会場「食品の分子機能に対する信頼性ある科学的検証法の探求」(ハイブリッド (東京) 開催)《後援》(2月 20 日)
  - ・フード・フォーラム・つくば フードファンクション分科会 講演会 (ハイブリッド (つくば)) 開催)《後援》(2月 21 日)
  - ・ケミカルバイオロジーが拓く未来の創薬 (Future Drug Discovery Empowered by Chemical Biology) (奈良)《後援》(2月 21-22 日)
  - ・第380回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web 開催)《後援》(2月 22 日)
  - ・プラズマ種子科学研究会 (名大)《後援》(2月 23-24 日)
  - ・第11回 低温・氷温研究会 (ハイブリッド (鳥取) 開催)《後援》(2月 25 日)
  - ・コロイド先端技術講座2022 ソフトマターの「液液」相分離 (東京)《後援》(3月 16 日)
  - ・第381回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web 開催)《後援》(3月 24 日)
  - ・バイオエンジニアリング研究会講演会「国内の製造業回帰への道と技術のインテグレーション～医薬品、バイオモノづくり製造を中心に」(Web 開催)《後援》(3月 30 日)
  - ・第34回万有仙台シンポジウム (東北大)《後援》(4月 22 日)
  - ・第382回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web 開催)《後援》(4月 27 日)
  - ・第84回有機合成化学協会関東支部シンポジウム (東京)《後援》(5月 13 日)
  - ・「ニューモダリティと有機合成化学」第2回公開講演会 (東京)《後援》(5月 18 日)
  - ・第383回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web 開催)《後援》(5月 25 日)
  - ・第39回希土類討論会 (札幌)《後援》(5月 30-31 日)
  - ・第33回万有福岡シンポジウム ((九大)《後援》(6月 3 日)
  - ・第28回地下水・土壤汚染とその防止対策に関する研究集会 (函館)《後援》(6月 15-16 日)

- ・シンポジウム「モレキュラーキラリティー2023」(北大)  
《後援》(6月15-16日)
- ・第56回天然物化学談話会(つくば)《後援》(6月29-30日)
- ・第60回アイソトープ・放射線研究発表会(東大)《後援》(7月5-7日)
- ・第65回天然有機化合物討論会実行委員会(東大)《後援》《後援》(9月13-15日)
- ・第39回シクロデキストリンシンポジウム(名古屋)《後援》《後援》(9月20-21日)
- ・第52回複素環化学討論会(東北大)《後援》(10月11-14日)
- ・第67回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(千葉大)《後援》(10月28-30日)

16) 和食文化国民会議に会員として参加した。

17) その他外部団体との連携

- ・日本学術振興会 第19回日本学術振興会賞に本会から1件を推薦した。
- ・日本学術振興会 第13回育志賞に本会から1件を推薦した。
- ・農学会の第21回日本農学進歩賞候補者を2件推薦した。
- ・飯島藤十郎記念食品科学振興財団の2022年度飯島藤十郎食品科学賞に本会から推薦しなかった。
- ・三島海雲記念財団の第12回三島海雲学術賞に2件を推薦した。
- ・山田科学振興財団「2022年度研究援助」に本会から1件を推薦した。
- ・内藤記念科学振興財団へ2023年度選考委員1名を推薦した。

### (3) 関連する国際協力の推進事業

1) 国際学術集会の共催・協賛・後援

【2022年】(2件)

- ・プロテイン・アイランド・松山2022(愛媛大)《後援》(9月16日)
- ・酵素活性分子国際会議2022(富山県立大)《後援》(9月30日-10月1日)

【2023年】(2件)

- ・第26回IUPAC化学熱力学国際会議(ICCT-2023)(大阪)《後援》(7月30日-8月4日)
- ・第15回国際有機化学京都会議 The Fifteenth International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-15)(京都)《後援》(11月20日-23日)

### (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者3名を推薦し、協力した。
- 2) 大学改革支援学位授与機構へ機関別認証評価委員会専門委員候補者を推薦し、協力した。

### 【総会、理事会、委員会の開催】

2022年度(2022年3月1日から2023年2月28日)は下記のとおり開催した。

・総会

第66回(2022年度)定時総会を2022年5月27日、東京大学中島董一郎記念ホール(東京都文京区弥生1-1-1)において開催し、次の議案を可決した。

第1号議案 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認の件

第2号議案 名誉会員の承認の件

・理事会(6回)

5月12日:①事業報告、②特定資産取崩、③決算書類承認、④総会開催、⑤授賞選考委員非会員枠、⑥助成交付者

5月27日:①大会WGからの答申について、②入会員の承認、③役員候補者等選考委員の承認について、④EBSCO Publishing Incとの契約について、⑤監査人契約の更新について、⑥助成金返還の申し出について、⑦個人(特定)情報基本方針の変更について、⑧個人情報取り扱い規程の変更について、⑨学会内システム仕様変更について、⑩給与規定の変更について

7月19日:①入会員の承認、②2023年度大会(広島)における授賞式、受賞講演の開催日、会場および開催形態並びに一般講演、大会シンポジウム等の開催形態について、③各種規程の変更について、④支部引当特定資産の取り崩しの承認について、⑤事務局人事、初任給について

10月21日:①創立100周年記念事業寄附趣意書案の承認について、②入会員の承認、③名誉会員及び有功会員候補者の承認について、④2023年度大会の実施要項、参加費について、⑤支部大会、支部講演会における創立100周年記念事業の冠について、⑥第77回国際会議出席費補助金の承認について、⑦社会保険労務士との顧問契約について⑨2022年度予算案について

12月26日:①入会員の承認、②株式会社エー・イー企画との代理店契約について、③各種規程・規則の変更について、④各種表彰の承認について、⑤各種助成金の承認について、⑥2023年度事業計画第一次案について、⑦2023年度収支予算第一次案について、⑧近畿日本ツーリスト株式会社等との年次契約について、⑨社会保険労務士法人への業務委託契約について

2月15日:①入会員の承認、②相談役の承認について、③授賞選考委員の改選について、④日本農芸化学会賞および日本農芸化学会功績賞の授賞題目について⑤2023年度大会スポンサードセミナー及び広報動画の業務委託契約について、⑥各種表彰の承認について、⑦第78回国際会議出席者補助金の承認について、⑧各種規程の変更について、⑨2023年度事業計画案の承認について、⑦2023年度収支予算最終案の承認及び資産調達等の見込みについて

・授賞選考委員会(2回)

11月14日:①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績

## 賞・日本農学賞本会推薦候補者の選考

12月12日：①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞の選考

### ・学術活動強化委員会（1回）

11月7日：①化学と生物シンポジウムの開催方法について、②学活委員の新たなグループ分けについて、③共催（分野融合連携）シンポジウムについて、④2023年度予算案について、⑤その他（委員の交代時期について）、⑥その他（各助成金、補助金について）

### ・学術活動強化委員会打ち合わせ（1回）

3月29日：①Visionary 農芸化学100シンポジウム講演要旨集の学会サイト掲載公開について、②学術活動強化委員会委員の新たなグループ分けについて、③その他（Visionary 農芸化学100シンポジウム開催の際の「化学と生物」シンポジウム副冠について）

### ・和文誌編集委員会（2回）

7月12日：①推薦記事の採否、②SDGs特集号について

12月19日：①推薦記事の採否、②書評原稿の採否、③書籍紹介執筆の採否、④農芸化学@highschool担当者の承認、⑤SDGs特集号について

### ・英文誌編集委員会（1回）

4月25日：①BBB論文賞・Most Cited Awardについて、②BBB原稿の投稿・掲載状況、③Minireviewの創設とBBB連携シンポジウムによるBBBの特集、④Note投稿時のチェック項目について、⑤OUP社によるPublisher's Report

### ・英文誌編集総務会（2回）

7月21日：①Retraction関連対応、②BBBデザインテンプレートの変更、③Format free submissionの導入、④S1M unusual activity reportの導入、⑤BBBツイートについて

1月18日：①論文賞候補の選考、②BBB Most Cited Paper (Review) Award候補の選考、③Cover Imageの選定方法変更、④学会100周年に向けて

### ・産学官学術交流委員会（3回）

6月13日：①年度計画、②予算報告（予比）と次年度予算案、③大会フォーラムの総括、④企画賞・夢にチャレンジ企画賞・中小企業研究助成募集スケジュール、⑤企画賞・夢にチャレンジ企画賞の予算に関する提案（企業賞）、⑥中小企業助成；企業側の積極参加、⑦さんわか活動報告と年間計画

9月12日：①さんわか世話人人事承認、②今年度予算案について、③2023年度産学官学術交流委員会フォーラム開催報告、④産学官若手交流会（さんわか）活動報告について、⑤その他（委員交代時期について）

12月12日：①中小企業産学・産官連携助成 最終選考、②企画賞 最終選考、③夢にチャレンジ企画賞 最終選考、④企画賞報告書の和文誌推薦について⑤委員任期（4月～3月末に変更）、⑥産学官若手交流会（さんわか）活動報告について、⑦さんわか次年度活動計画・予算修正案（委

員長）、⑧その他

### ・広報委員会（2回）

4月19日：①BBBのGraphical AbstractのSNS配信について、②学会大会中のSNS配信におけるトピックス演題の扱いについて、③年次大会（オンライン開催）トピックス演題発表における進行役の確認について、④その他

10月14日：①ダイナコムによるBBBのGAのSNS配信のチェック体制について、②大学を指定した出前授業への対応について、③トピックス演題のプレスリリースと記者会見について、④トピックス演題の選考スケジュールについて⑤2023年度 活動計画案・活動予算案、⑥その他

### ・JABEE対応委員会（1回）

4月13日：①2022年度 農芸化学会JABEE対応委員会の活動方針について、②その他

### ・ダイバーシティ推進委員会（1回）

6月10日：①女子中高生夏の学校2022への参加、②2022年度男女参画シンポジウムの開催検討、③支部例会等でのダイバーシティ関連イベントの開催対応、④2023年度男女参画シンポジウム企画について、⑤男女共同参画学協会連絡会関係対応

### ・農芸化学女性賞等授賞選考委員会（1回）

12月5日：①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の選考

### ・創立100周年記念事業実行委員会寄附ワーキンググループ（1回）

7月29日：①創立100周年記念事業の募金活動の方針、②趣意書案

### ・創立100周年記念誌編集分科会第一部（3回）

6月22日：①記念誌構成について、②分野割の再考、③スケジュール確認

10月18日：①丸善プラネット社との会合報告、②成果トピックの仕様検討、③スケジュール確認

2月14日：①丸善プラネット社との会合報告、②トピックの執筆者・内容・フォーマット・執筆依頼について、③その他の執筆者について、④スケジュール確認

### ・大会実行委員会（15回）

1月28日：2023年3月大会に向けた目標・計画案共有  
3月10日：役割分担と今年の京都大会での情報収集について

4月11日：今年の京都大会を踏まえた担当と業務内容確認

5月31日：今年の京都大会を踏まえた担当と業務内容確認

6月24日：農芸化学会長、大会担当理事との打ち合わせを踏まえた3月大会実施方針共有、実行計画案策定

7月27日：7月理事会決定事項を踏まえた計画

8月25日：計画実行進捗報告

9月28日：計画実行進捗報告

10月28日：計画実行進捗報告

11月17日：計画実行進捗報告

12月12日：計画実行進捗報告

1月6日：計画実行進捗報告

1月25日：進捗報告と今後の課題洗い出し

2月17日：進捗確認と3月12日から17日の日程計画

3月2日：3月12日～17日のスケジュール確認

・大会ワーキンググループ（1回）

3月7日：①今後の大会のあり方・運営方式、②支部大会のあり方・運営方式

【会員の状況】

2022年度（2023年2月28日現在）の会員数は次のとおりである。

	2022年度	2021年度	増減
名 誉 会 員	15	14	1
有 功 会 員	214	221	-7
シニア会員	208	234	-26
一 般 会 員	6,207	6,461	-254
教 育 会 員	92	89	3
学 生 会 員	2,089	2,119	-30
ジ ュ ニ ア 会 員	11	8	3
国 外 会 員	15	27	-12
団 体 会 員	225	229	-4
贊 助 会 員	95	96	-1
(口数)	(181)	(180)	(1)
合 計	9,171	9,498	-327

（2023年2月末現在）

会員種別	名譽	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助 (口数)	小計
前年02月末	14	221	234	6,461	89	2,119	8	27	229	96 (180)	9,498
北海道支部	0	13	5	229	3	104	0	0	5	3 (3)	362
東北支部	0	9	10	358	8	195	2	0	15	1 (1)	598
関東支部	9	92	90	2,604	34	745	9	0	108	59 (123)	3,750
中部支部	2	13	25	768	11	322	0	0	30	10 (19)	1,181
関西支部	3	51	44	1,212	16	377	0	0	37	15 (28)	1,755
中四国支部	0	16	13	582	11	219	0	0	21	5 (5)	867
西日本支部	0	20	21	447	9	126	0	0	9	2 (2)	634
國 外	1	0	0	7	0	1	0	15	0	0	24
合 計	15	214	208	6,207	92	2,089	11	15	225	95 (181)	9,171
増 減	1	-7	-26	-254	3	-30	3	-12	-4	-1 (1)	-327
入 会	0	0	0	198	8	803	4	1	3	2 (4)	1,019
復 会	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
会員種別変更	1	6	4	569	0	-580	0	0	—	—	—
休 会	0	0	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-2
退 会	—	-2	-16	-338	-2	-212	-1	0	-6	-2 (-2)	-579
会費未納退会	—	—	-5	-128	0	-34	0	0	-1	-1 (-1)	-169
会費滞納による会員資格停止	—	—	-7	-555	-3	-5	0	-13	0	0	-583
逝 去	0	-11	-3	-1	0	-1	0	0	—	—	-16
口 数 変 更	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0)	—
合 計	1	-7	-26	-254	3	-30	3	-12	-4	-1 (1)	-327

新規入会者の入会年度内訳

会員種別	名譽	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助	小計
2022年度入会	0	0	0	80	6	171	4	1	2	2	266
2023年度入会	0	0	0	118	2	632	0	0	1	0	753
計	0	0	0	198	8	803	4	1	3	2	1,019